

日本ペンクラブ女性作家委員会 文学イベント

# 第5回 作家が自作を語る

©freedesignfile.com

どんな思いを込めて、その小説を書いたのか……。創作の喜びと苦しみ、職業作家のたくらみと工夫、自信と不安、主人公への共感、現代社会と女性について思うところ、など、自由に語るひととき。作家の肉声が、あなたの読書を、さらに豊かに、深く、耕すでしょう。

開催日 2019年11月17日(日)  
時間 午後2時～4時(午後1時30分開場)  
会場 東京堂ホール  
(東京都千代田区神田神保町1-17 東京堂書店6階)

出演 篠田節子(作家)『肖像彫刻家』を語る



諸田玲子(作家)『今ひとたびの、和泉式部』を語る



松本侑子(作家・翻訳家)『新訳 赤毛のアン』を語る



司会 松本侑子

定員：80名・要予約(申込方法は裏面参照) ※中学生以上  
参加費：1000円 ※作家の本を販売、サインします。

主催 一般社団法人日本ペンクラブ  
協力 株式会社 東京堂

## 《出演者プロフィール》

### 篠田節子（しのだ・せつこ）

東京都生まれ。東京学芸大学卒。1990年『絹の変容』で第3回小説すばる新人賞を受賞。1997年『ゴサイタンー神の座ー』で第10回山本周五郎賞を、『女たちのジハード』で第107回直木賞を受賞。2009年『仮想儀礼』で第22回柴田錬三郎賞を受賞。2011年「スターバト・マーテル」で芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2015年「インドクリスタル」で中公文芸賞受賞。2019「鏡の背面」で吉川英治文学賞受賞。近著に『弥勒』（集英社文庫）。最新刊は『肖像彫刻家』（新潮社）。

### 諸田玲子（もろた・れいこ）

静岡県生まれ。上智大学英文科卒。2003年『其の一日』で第21回吉川英治文学新人賞、2007年『奸婦にあらず』で第25回新田次郎賞、2018年『今ひとたびの、和泉式部』で第10回親鸞賞を受賞。『お鳥見女房』『あくじゃれ瓢六』『狸穴あいあい坂』等の江戸シリーズの他、平安朝から昭和までを舞台とした著書多数。近著に『今ひとたびの、和泉式部』（集英社文庫）、『尼子姫十勇士』（毎日新聞出版）、『森家の討ち入り』（講談社）。最新刊は『旅は道づれ きりきり舞い』（光文社）。

### 松本侑子（まつもと・ゆうこ）

1963年島根県生まれ。筑波大学卒。1987年『巨食症の明けない夜明け』ですばる文学賞、2010年『恋の蛸 山崎富栄と太宰治』で新田次郎文学賞受賞。日本初の全文訳・訳註付『赤毛のアン』『アン青春』『アン愛情』（文春文庫）。訳文は、従来訳で省略・改編された部分をモンゴメリの原書通りに翻訳した全文訳。巻末の訳註では、登場人物の民族（アンとアンを引き取るカスパート家はスコットランド系、親友ダイアナはアイルランド系）、小説中に引用される英文学と聖書を100カ所以上、作中の古代アーサー王伝説とイエスの聖杯探索について解説、大人の文学。

## 《お申込方法》

希望参加者1名につき1通をご記入の上、いずれかの方法でお申込みください。

- ①電子メールでのお申込みの場合は、タイトルを「作家が自作を語る申し込み」とし、本文に、氏名、年齢、電話番号をお書きください。

送付先 [secretariat03@japanpen.or.jp](mailto:secretariat03@japanpen.or.jp)

- ②往復はがきでのお申込みの場合は、「往信用裏面」に氏名、年齢、郵便番号、ご住所、電話番号をお書きください。「返信用表面」に返信先の郵便番号、住所、氏名をお書きください。

送付先 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 20-3  
日本ペンクラブ「作家が自作を語る」係

※折り返し入場整理券をお送りいたします。2週間以内にメールまたは返信はがきでの連絡がない場合は、恐れ入りますが下記問い合わせ先にご連絡ください。

## 《会場地図》



最寄駅

- 東京メトロ半蔵門線「神保町駅」
  - 都営新宿線「神保町駅」
  - 都営三田線「神保町駅」
- いずれも A7 出口より徒歩 3 分

お問い合わせ先 日本ペンクラブ事務局 Tel 03-5614-5391